

第 27 回 全日本漁港建設協会セミナー

**次期漁港漁場整備長期計画に期待！
～気候変動・海洋環境の変化への対応は可能か～**

講 師 (講演順)

田島 芳満	東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 社会基盤サイエンス講座 教授
堀 正和	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部 副部長
渡邊 浩二	水産庁漁港漁場整備部 計画・海業政策課長

日 時 ・ 場 所

令和 8 年 10 月 8 日 (木) 13:30～16:30

『全日通霞が関ビル会議室』

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3 丁目 3 番地 3 号 全日通霞が関ビル 8 階

(TEL: 03-3581-2261)

※オンライン配信による受講もできます。

参 加 費 : 無 料

ご 案 内

(一社)全日本漁港建設協会では、かねてより学識者の講演と意見交換により、現下、漁港建設業を取り巻く厳しい状況の打開と将来に希望の持てる建設業の在り方を考えるためのセミナーを実施して参りました。

近年、気候変動や海水温の上昇等海洋環境の変化により、台風や豪雨等災害外力の巨大化に伴う激甚災害の多発とともに、藻場や干潟の減少等による海域の生産力低下が懸念されています。

このような中、水産基盤整備事業のベースとなる漁港漁場整備長期計画（現計画：令和 4 年度～8 年度）が今年度改定時期を迎えていることから、今後の漁港漁場整備において、気候変動や海洋環境の変化に対して、漁港施設や漁場環境対策はどのようにあるべきかについて、関係者一同、問題意識を共有し、議論を深める必要があると考えています。

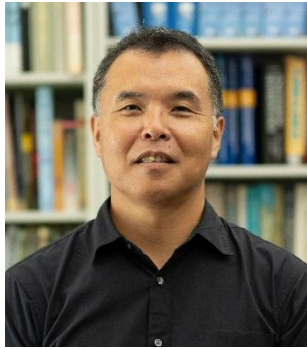
このようなことから、今回は「次期漁港漁場整備長期計画に期待！～気候変動・海洋環境の変化への対応は可能か～」をテーマに開催することとしました。

まずは、気候変動が漁港施設へ与える影響と対応策等に関して、東京大学大学院工学系研究科の田島教授、次に、海洋環境の変化が藻場・干潟や漁場環境に与える影響と対応策等について、国立研究開発法人水産研究・教育機構の堀先生、最後に、次期漁港漁場整備長期計画の検討状況等について、水産庁の渡邊計画・海業政策課長から話題提供いただきます。

大勢のご参加をいただき、次期漁港漁場整備長期計画が、水産業・漁村の再生に向け夢と実効性ある計画となるよう考えを深めていただく場となることを願っております。

(一社)全日本漁港建設協会 会 長 岡 貞 行

○田島 芳満（たじま よしみつ）



東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 社会基盤サイエンス講座 教授

1972 年 神奈川県生まれ
1996 年 3 月 東京大学工学部土木工学科 卒業
1996 年 4 月 五洋建設株式会社 入社
2001 年 6 月 マサチューセッツ工科大学 MS 修了
2004 年 6 月 マサチューセッツ工科大学 PhD 修了
2005 年 9 月 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 専任講師
2007 年 4 月 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 准教授
2013 年 4 月 東京大学大学院工学系研究科 教授
2022 年 7 月 内閣府総合海洋政策推進事務局総合海洋政策本部 参与

現在に至る

○堀 正和（ほり まさかず）



国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部 副部長

1974 年 大阪府生まれ
1998 年 3 月 北海道大学水産学部水産増殖学科 卒業
2003 年 3 月 北海道大学大学院水産科学研究科 博士後期課程 修了
2003 年 4 月 日本学術振興会特別研究員（東京大学）
2006 年 4 月 独立行政法人水産総合研究センター 任期付研究員
2011 年 10 月 同 主任研究員
2020 年 7 月 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部 沿岸生態系グループ長
2021 年 4 月 東京海洋大学大学院海洋生命資源科学専攻 客員教授
2021 年 6 月 ジャパンブルーエコノミー技術研究組合 顧問
2026 年 4 月 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部 副部長

現在に至る

○渡邊 浩二（わたなべ こうじ）



水産庁漁港漁場整備部 計画・海業政策課長

1969 年 愛知県生まれ
1994 年 3 月 名古屋工業大学大学院工学研究科博士前期課程 修了
1994 年 4 月 農林水産省水産庁 入庁
2021 年 1 月 国土交通省北海道開発局 水産課長
2023 年 7 月 水産庁漁港漁場整備部 整備課長
2025 年 1 月 水産庁漁港漁場整備部 計画・海業政策課長

現在に至る

プログラム 及び 申し込み要領

■スケジュール／プログラム

日時 令和8年10月8日(木)

13:00	受付開始
13:30	開 会
～13:40	主催者挨拶
	(一社)全日本漁港建設協会 会長 岡 貞行
13:40	講 演 1 「気候変動が漁港施設へ与える影響と対応策」
～14:30	東京大学大学院工学系研究科 教授 田島 芳満
14:30	(休 憩)
～14:40	
14:40	講 演 2 「気候変動下における藻場再生・拡大とブルーカーボンの活用」
～15:30	国立研究開発法人水産研究・教育機構 副部長 堀 正和
15:30	(休 憩)
～15:40	
15:40	講 演 3 「次期漁港漁場整備長期計画策定に向けて」
～16:30	水産庁漁港漁場整備部 計画・海業政策課長 渡邊 浩二
16:30	閉 会

■申し込み要領

1. 参加費 : 無料
2. 申込み方法: 別添申込書に必要事項を記入し、本部事務局(下記問い合わせ先)または各支部事務局まで、FAX またはメールにてお申し込み下さい。
3. 申込締切日: 令和8年10月2日(金)
4. 募集人数: 150名(現地参加人数)
5. 問い合わせ先: 一般社団法人全日本漁港建設協会 本部事務局
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-25-10 JR 八丁堀ビル 5 階
TEL: 03-6661-1155 FAX: 03-6661-1166
Mail: seminar@zengyoken.jp (担当: 國武・田原)

<会場のご案内>

全日通霞が関ビル 8階 会議室



<交通のご案内>

- ①東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」5・6・11番出口 徒歩5分
- ②東京メトロ千代田線・日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩8分
- ③東京メトロ丸ノ内線「国会議事堂前駅」2・4番出口 徒歩8分